



第12回 長崎大学病院 ICLSコース報告書



長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しております！

平成28年8月20日(土)開催

共催：長崎シミュレーション教育研究会
長崎大学病院 外来・救急医療教育室
シミュレーションセンター
協力：日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。
また、スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター4名、アシスタントインストラクター6名)計12名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。
また、スタッフは医師だけでなく、看護師、薬剤師、救命士、歯科医師とコメディカルからの参加も多かった。

※スタッフ詳細はP.4



◆実施内容◆

開催日時	平成28年8月20日(土) 9:20～17:05		
受講者数	12名		
対象	初期研修医 12名		
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター		
スケジュール			
		グループA	グループB
9:00～9:20	0:20	受 付	
9:20～9:30	0:10	オリエンテーション	
9:30～10:05	0:35	BLS+AED	
10:05～10:15	0:10	休憩・移動	
10:15～11:15	1:00	気道管理	モニター
10:15～10:25	0:10	休憩・移動	
11:25～12:25	1:00	モニター	気道管理
12:25～13:15	0:50	昼 食	
13:15～13:20	0:05	BLS・ALSデモンストレーション	
13:20～14:30	1:10	チーム蘇生	チーム蘇生
		VF/VT	VF/VT
14:30～14:40	0:10	休 憩	
14:40～15:25	0:45	non VF/VT	non VF/VT
15:25～15:40	0:15	休憩・移動	
15:40～16:40	1:00	メガコード	メガコード
16:40～17:05	0:15	終了式・修了証授与式	

◆アンケート◆ 受講者の声

- ・胸骨圧迫の交代など、さり気なく助けを求められるようになった。
- ・次にハリーコールがあった時には、少しは自信を持って動けると思います。
- ・CPAの対応時、上級医に言われたまま行動していたが、自分で考えて行動しようと思った。
- ・緊急の現場で必要な事と普段の診療で必要な事のギャップを少し理解できました。
- ・しっかり声を出して、チームの連携を意識できるようになった。落ち着いて、対応してよいと分かった。
- ・ハリーコールがあった際、今何を目的に何を行っているのか分かる事で、役割を明確に把握し、行動できるようになったと思います。
- ・これまでは、その場においても、誰がどんな役割をしているのか意識したことがなかった。自分がリーダーにならなくても、自分のすべきことを見つけて行きたいと思います。
- ・より実践的だったので、実際そういう状況になった時に少しは役立てると思えるようになりました。
- ・どの科に進んでも、医者として偶然の心停止には対応能力が出来なければならないと改めて実感しました。
- ・いかに、行動に移すかが難しいかという事理解することができました。
- ・今まではハートコール時もなかなか自分でやれることを見つけきれなかったが、これからはより積極的に役割を見つけられると思う。
- ・一通りの確認ができたので、実際の現場でも対応できるようになったと思います。
- ・意外と現場では思った通りに動けなかった。現場で落ち着いて対処するためには、訓練が重要だと感じた。
- ・BLS、ALS、気道確保の方法について以前より復習できた。

◆アンケート◆ スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・全体的に明るく元気で良かったです。
- ・初めの頃は硬くなっているのが、導入でリラックスできる工夫が必要だと思います。
- ・積極的に参加して、チームの雰囲気も良かったと思います。
- ・元気が良く、知識もあり、良かったと思います。

2) 予備知識(予習含む)はどうだったか？

- ・BLSの知識・スキルは十分あったと感じました。
- ・近いところで、勉強されていたのか、かなりしっかりしていた印象です。
- ・まったく分からないという事がなかったので、良く出来ていたと思います。
- ・波形の判断のところで差が少しみられた。
- ・やや少ないと思いました。

3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・皆様、元気で熱心だと思います。
- ・時間との関係で、うまく引き出せず、答えを早目に言ってしまうので、もうちょっと粘りたいと思います。
- ・積極的に楽しい雰囲気作りをされていてよかった。
- ・要点を絞って、ポジティブにフィードバックができていた。
- ・適切な指導を行い、受講生の主体性を引き出していたと思います。
- ・協力して指導に取り組めた。
- ・十分な知識と的確なインストラクションをされていたので、勉強になりました。
- ・勉強、刺激になりました。

4) 今後について、ひとこと

- ・次回もアシスタントインストラクターとして参加したいと思います。
- ・また参加します。
- ・看護師、初期研修医以外が参加できるようにしたい。

●改善点●

- ・少し器械トラブルがあった。対処するのが難しかった。
- ・人形とPCの接続がうまく行かないことがあった。
- ・各ブースのミーティング時間(準備を含め)が取れると良い。

準備する資機材(3ブース)

資機材名	必要数	備考
ハートシム、操作用PC	3	1台は予備
レサシアン	4	
バックバルブマスク	4	
AED	4	複数機種
気道管理トレーナー	2	
モニター付き除細動器	3	単相性 1 二相性 2
気道管理ボックス	3	各ブースに1箱ずつ
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニュラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	3	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	3	各ブースに1つずつ
ワゴン	2	
聴診器	2	持ってきてもらう
アルコール綿	多目	
ホワイトボード	3	
ホワイトボードマーカー4色	12	
ストップウォッチ	4	
メトロノーム	2	
延長コード	4	



長崎大学病院
医療教育開発センター
外来・救急医療教育室
シミュレーションセンター
〒852-8501
長崎市坂本1丁目7番1号
電話 (095) 819-7346
FAX (095) 819-7379